

8チャンネル生体アンプ
BA-1008

TEAC
基礎医学研究用機器
2014年10月

手のひらサイズの携帯型8チャンネルアンプ。
最大周波数帯域3kHzと広帯域、
電極入力のためのヘッドアンプ方式を採用し、高精度の信号増幅を実現

8チャンネル生体アンプ BA-1008は、筋電図、心電図、眼球運動などの生体信号計測を目的とした基礎医学研究用の生体信号増幅器です。チャンネルごとに感度・時定数・高域フィルタの計測条件が手動で設定でき、様々な生体計測用途にご利用いただけます。手のひらサイズの本体は、内蔵電池駆動できますから携帯計測に最適です。



筋電図、心電図など双極誘導法を採用した携帯型タイプ

- 本体 約 W125 × D80 × H30 mm、約 250 g (電池含まず)
ヘッドアンプ 約 W60 × D86 × H30 mm、約 80 g と小型軽量
- 8チャンネル(16電極+アース1)
- 計測対象は筋電図、心電図、眼球運動など
- 006Pアルカリ電池で約 4時間の連続使用、ACアダプタ使用も対応
- ヘッドアンプ方式で高いSNを実現
- 周波数特性は～3000 Hzと広帯域
- 簡単操作、チャンネルごとにマニュアル計測条件設定

BA-1008仕様
〈基本性能〉

| | |
|-----------|--|
| 電極数 | 16 電極、アース 1 |
| 入力インピーダンス | 10 MΩ 以上 |
| 周波数特性 | ～3000 Hz |
| 出力電圧 | 最大±7.5 V |
| 感度 | 各チャンネル独立 5～5000 μV/0.5 V |
| HFF | 各チャンネル独立 30、100、3000 Hz |
| 時定数(LFF) | 各チャンネル独立 0.01、0.03、0.1、0.3、1.0、1.5、3.0、5.0 sec |
| 雑音 | 4 μVp-p(～100 Hz) 以下 |
| CMR | 80 dB 以上 |
| CAL | CALボックス 10、100、1000 μV (矩形波) |

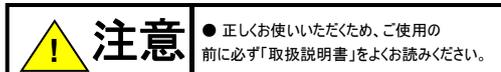
〈一般〉

| | |
|--------|---|
| 寸法・質量 | 本体 約 W125 × D80 × H30 mm、約 250 g (電池含まず) ヘッドアンプ 約 W60 × D86 × H30 mm、約 80 g |
| 電源 | DC入力 9～12 V ACアダプタ、またはアルカリ電池(006P) |
| 消費電力 | 約 1 VA 以下 |
| 連続使用時間 | 約 4時間(指定電池にて) |
| 製品構成 | 本体、ヘッドアンプ、ヘッドアンプ接続ケーブル CALボックス、CAL出力ケーブル、 クリップ付きコード1.5m(ディスポ電極用BA-C003) × 2(20本) 出力ケーブル3m × 8、ACアダプタ、 単3電池 × 2 (CALボックス用) |

基礎医学研究用機器のため臨床用途には使用できません。

製造販売元: (株)ミユキ技研

※仕様は予告なく変更することがあります。記載の会社名および製品名はそれぞれの会社の登録商標です。



TEAC

お問い合わせ先 ティアック株式会社 情報機器事業部
メジャメントプロダクト部 営業課
〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
TEL: 042-356-9161 FAX: 042-356-9185

<http://www.teac.co.jp/>

名古屋 TEL: 052-856-7355

この記載内容は2014年10月現在の内容です。